

# 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果・分析

南伊勢町

令和6年11月

本町では、教育施策や学校における指導方法の工夫改善につなげるため、これまでも、町学力向上委員会等で、児童・生徒の学力・学習状況を把握し、課題について検証してまいりました。今年度も、全小・中学校において、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査を通して、教科の概要とともに、児童・生徒の意識調査から学習に対する興味・関心や生活習慣・学習習慣等に見られる課題について分析を行いました。

本町の教育が目指すところは、「生きる力」の育成という理念のもと、「知」「徳」「体」の調和のとれた教育活動を充実させ、『自らの夢に向かって、心豊かにたくましく生き抜く子どもの育成』です。

各学校において、1人1台の学習用端末や電子黒板等の ICT 機器を効果的に活用しながら、子どもの学力向上につながる「魅力ある授業づくり」等、具体的な指導方法の工夫改善を図るとともに、教育委員会としましても、調査結果の分析を各学校の授業研究を支援する体制づくり等、教育施策に反映させ、確かな学力を育む取組を積極的に進めてまいります。

## 教科に関する調査の結果・分析

### (1) 本町における特徴的な傾向

#### <小学校国語>

##### ○強み

##### ・ 問題2三ア

平均正答率 53.1% (三重県 38.5%、全国 43.4%)

学年別漢字配当表に示されている漢字(競技)を文の中で正しく使うことができています。

##### ・ 問題2三イ

平均正答率 89.8% (三重県 77.0%、全国 76.0%)

学年別漢字配当表に示されている漢字(投げる)を文の中で正しく使うことができています。

##### ・ 問題3三

平均正答率 85.7% (三重県 72.3%、全国 72.6%)

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができています。

## ○弱み

### ・ 問題1一

平均正答率 51.0%(三重県 61.6%、全国 62.5%)

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する力をつける必要があります。

### ・ 問題1二(2)

平均正答率 38.8%(三重県 51.7%、全国 52.9%)

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力をつける必要があります。

### ・ 問題1三

平均正答率 55.1%(三重県 62.9%、全国 63.8%)

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する力をつける必要があります。

## ■全体の傾向から見られる課題

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力や、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力が身につけてきています。しかし、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力をつける必要があります。学習指導に当たっては、相手や目的を意識しながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫できるようにすることが大切です。

## <小学校算数>

### ○強み

#### ・ 問題3(4)

平均正答率 83.7%(三重県 72.8%、全国 72.0%)

角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することができています。

#### ・ 問題4(1)

平均正答率 75.5%(三重県 67.6%、全国 70.1%)

除数が小数である場合の除法の計算をすることができています。

## ○弱み

### ・ 問題3(3)

平均正答率 28.6%(三重県 33.7%、全国 36.5%)

球の直径の長さで立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す力をつける必要があります。

### ・ 問題5(2)

平均正答率 61.2%(三重県 73.0%、全国 73.3%)

簡単な二次元表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する力をつける必要があります。

### ・ 問題5(4)

平均正答率 40.8%(三重県 47.0%、全国 49.3%)

示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断する力をつける必要があります。

## ■全体の傾向から見られる課題

○図形を構成する要素に着目し、底面や側面という用語を用いて角柱の性質について説明する力や、整数の場合の計算の意味や計算の仕方を利用して、計算をする力が身につけてきています。しかし、図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求める力をつける必要があります。学習指導に当たっては、身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが大切です。

## <中学校国語>

### ○強み

#### ・ 問題1三

平均正答率 51.3%(三重県 43.6%、全国 44.0%)

意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができています。

#### ・ 問題1四

平均正答率 51.3%(三重県 43.2%、全国 44.7%)

話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができています。

・ 問題2四

平均正答率 53.8% (三重県 40.8%、全国 42.6%)

目的に応じて必要な情報に着目して要約することができます。

○弱み

・ 問題4一

平均正答率 46.2% (三重県 55.2%、全国 54.9%)

表現の技法について理解する力をつける必要があります。

・ 問題4二

平均正答率 41.0% (三重県 48.3%、全国 48.3%)

短歌の内容について、描写を基に捉える力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

○話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる力や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する力がついてきています。しかし、表現の技法について理解する力をつける必要があります。学習指導に当たっては、用いられている語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりするうえで、どのように働いているかを考え、描写の仕方や表現の技法などに着目することができるようにすることが大切です。

<中学校数学>

○強み

・ 問題2

平均正答率 61.5% (三重県 51.8%、全国 52.5%)

等式を目的に応じて変形することができます。

・ 問題5

平均正答率 84.6% (三重県 73.8%、全国 73.1%)

簡単な場合について、確率を求めることができます。

・ 問題9(1)

平均正答率 33.3% (三重県 25.2%、全国 25.8%)

筋道を立てて考え、証明することができます。

## ○弱み

### ・ 問題1

平均正答率 23.1% (三重県 34.8%、全国 34.8%)

連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表す力をつける必要があります。

### ・ 問題7(1)

平均正答率 74.4% (三重県 79.0%、全国 74.3%)

与えられたデータから最頻値を求める力をつける必要があります。

### ・ 問題9(2)

平均正答率 17.9% (三重県 26.0%、全国 26.7%)

事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだす力をつける必要があります。

## ■全体の傾向から見られる課題

○等式を目的に応じて変形する力や簡単な場合について確率を求める力がついてきています。しかし、事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだす力をつける必要があります。学習指導に当たっては、条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだすことができるようにすることが大切です。

## (2) 学習への関心・意欲・態度

質問項目		南伊勢町	三重県	全国
国語の勉強は好きですか	小	53.1	57.7	62.0
	中	68.4	64.3	64.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	小	86.3	87.1	86.3
	中	92.2	86.1	82.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	小	84.3	93.3	93.2
	中	94.7	91.9	90.6
算数・数学の勉強は好きですか	小	60.8	61.9	61.0
	中	52.6	59.4	57.2
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	小	90.2	84.8	82.1
	中	81.5	79.8	75.7
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に 立つと思いますか	小	92.2	94.7	94.1
	中	73.7	81.6	78.5

※上記については「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した数値

### <全体的傾向と課題>

国語科について、小学校児童の関心・理解度・将来での必要感が県や国の平均と比べ低いのが課題です。中学校生徒においては、関心・理解度・将来での必要感が高い傾向にあります。

算数科・数学科について、小学校児童、中学校生徒ともに、関心・将来での必要感が県や国の平均と比べ低いのが課題です。しかし、授業での理解度は高い傾向にあります。